

NPO 法人岡崎がくどうの会

放課後児童支援員都道府県認定資格研修レポート

科目①『放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容』

科目②『放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護』

科目③『子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ』

科目④『子どもの発達理解』

科目⑤『児童期（6歳～12歳）の生活と発達』

科目⑥『障害のある子どもの理解』

科目⑦『特に配慮を必要とする子どもの理解』

科目⑧『放課後児童クラブに通う子どもの育成支援』

科目⑨『子どもの遊びの理解と支援』

科目⑩『障害のある子どもの育成支援』

科目⑪『保護者との連携・協力と相談支援』

科目⑫『学校・地域との連携』

科目⑬『子どもの生活面における対応』

科目⑭『安全対策・緊急時対応』

科目⑮『放課後児童支援員の仕事内容』

科目⑯『放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守』

【クラブ】（ あおぞらクラブ ） 【名 前】（ 佐藤ナタリア ）

全 16 回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

全 16 回の講義を通じて、特に虐待についての配慮や特別に支援を必要とする子どもの対応のしかたについて学びました。

虐待を早期発見できる立場としての意識が高まり、普段の生活の場面で日常的な異変や変化に今まで以上に気を配り、早期発見に努めたいと思います。たくさんの映像を通じて ASD や ADHD の方々の世界の見方がとても分かりやすかったです。日本語で障害という言葉は、全ての障害のことを簡単にまとめられているもので、実際にはもっと細かく分けて、ひとつひとつの障害を理解していく大切さが分かりました。

放課後児童クラブは子どもたちの居場所の一つなので、子どもの声や保護者の声をしっかり聞いて子どもの過ごしやすい場所にしてあげることが重要です。障害や家庭環境の情報交換はもちろん、日常的な異変や変化も連携することの大切さや、子どもの健全育成には地域協力や関係機関の連携は不可欠です。指導員全員が連携の意識を持つことが重要だと思いました。